

6. 第13回ITSシンポジウム2015プログラム



第13回ITSシンポジウム2015

社会の課題解決の役に立つITSへ
～2020年を見据えたニーズ・イノベーション

2015年12月3日(木)～4日(金)

首都大学東京 南大沢キャンパス 講堂大ホール

Final Program

主催 特定非営利活動法人ITS Japan

共催 首都大学東京

実行委員長 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授 大口敬

プログラム委員長 首都大学東京 都市環境科学研究科 観光科学域 教授 清水哲夫

協賛 計測自動制御学会/交通工学研究会/自動車技術会/情報処理学会/人工知能学会/電気学会/電子情報通信学会/土木学会/
日本機械学会/日本交通心理学会/日本ロボット学会/自動車技術会ITS部門委員会/情報処理学会高度交通システムと
スマートコミュニティ(ITS)研究会/情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会/情報処理学会ユビキタス
コンピューティングシステム研究会/電気学会ITS技術委員会/電子情報通信学会ITS研究会

参加登録料 論文発表者 一般15,000円/学生8,000円(いずれも論文投稿料を含みます)

聴講のみ 一般会員15,000円/一般非会員20,000円/学生3,000円 …… 11月25日(水)まで
一般会員18,000円/一般非会員23,000円/学生3,000円 …… 11月26日(木)より

ITS Japan ウェブサイト http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/



12月3日(木)

9:30 開場

10:00-10:15 開会式

講堂 大ホール

実行委員長ご挨拶 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授 大口 敬
主催者ご挨拶 特定非営利活動法人ITS Japan 専務理事 天野 肇

10:15-11:00 基調講演

講堂 大ホール

政策研究大学院大学 政策研究センター所長 森地 茂

「ITSのこれから～今後の社会経済情勢や国土・地域・都市形成を見据えて」

ITSが登場して20年の間に、社会、都市や産業の状況も大きく変化してきた。国土・地域・都市のあり方に対して、ITS技術にどのような貢献が期待され、その為に研究者や実務家に何が求められるかを論じる。

11:00-11:10 休憩

11:10-13:00 対話セッション1-1

11:10-11:25 概要紹介(ショットガン)
11:30-12:30 ポスタープレゼンテーション
12:30-13:00 公開討議

講堂 大ホール
7号館 101
7号館 101

*を付した論文は査読つき論文です。

1-1A. ITSによるニーズイノベーション

7号館 101 スタジオ

モデレータ：小根山 裕之 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市基盤環境学域 教授
原 加代子 日産自動車株式会社 総合研究所 モビリティ・サービス研究所 シニアリサーチエンジニア

- 1-1A-01 「ワンウェイ型カーシェアリングシステムの最適デポ配置とフリーフロート型システムの有効性」
○中村謙太, 溝上章志(熊本大学), 橋本淳也(熊本高等専門学校)
- 1-1A-02 「信号制御情報を用いた歩行者の動的経路探索システム」
○蒔苗耕司, 松田柊人(宮城大学)
- 1-1A-03 「電気自動車への走行中ワイヤレス給電におけるセンサレス送電ON/OFF切り替えシステムの提案」
○小林大太, 居村岳広, 堀洋一(東京大学)
- 1-1A-04 「長期利用モニタ利用者意識調査によるETC2.0情報提供サービスの効果」
松田奈緒子, 福山祥代(国土交通省国土技術政策総合研究所), 矢部努(計量計画研究所),
○吉村仁志, 牧野浩志(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 1-1A-05 「大規模イベント開催時における周辺観光促進への取組」
平沢隆之(東京大学), ○梶田佳孝(東海大学), 小笠原誠, 石川ひとみ(四電技術コンサルタント),
山口憶人, 中島綾美(東武ビジネスソリューション)
- 1-1A-06 「経路検索サービスによる交通制御に向けた研究
～道路交通と公共交通における需要検出と経路分散～」
○太田恒平, 野津直樹, 梶原康至(ナビタイムジャパン)
- 1-1A-07 「到着後に提供される複数交通機関情報の有用性に関する研究」
土井良介(東京都), ○田中伸治, 中村文彦, 有吉亮(横浜国立大学)
- 1-1A-08 「ワイヤー式車間距離観測装置を搭載したモビリティの複数台連結に関する基礎的検討」
○池上徳之佑, 小木津武樹, 溝口博(東京理科大学)
- 1-1A-09 「震災経験から生まれた三輪サイクルモビリティの開発」
○山邊茂之, 鈴木高宏, 長谷川史彦, (東北大学), 佐藤猛, 菊池明子, 大山由(ユニバーサルトライク)
- 1-1A-10 「Bluetoothを利用した所要時間提供による渋滞対策」
○鈴木健太郎(阪神高速技研), 萩原武司, 植田拓磨(阪神高速道路), 川合正信(阪神高速技研)
- 1-1A-11 「mew-tiアプリのプロープ情報に着目した活用の可能性検討」
○佐々木卓(長大), 田畑大(首都高速道路), 鈴木裕介, 林由宇(首都高技術), 萬沙織(長大)
- 1-1A-12 「プロープデータに基づくエリア流動性情報の全国展開に向けた取り組み」
○花房比佐友, 飯島護久, 小宮粹史, 堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ)

1-1B. センサリング技術とITS

7号館 101 スタジオ

モデレータ：居村 岳 広東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻 助教
橋 祐一 株式会社日立ソリューションズ 社会・公共ソリューション本部主管研究員

- 1-1B-02* 「高さ情報を用いたGNSS測位の精度向上手法」
○黄宇陽, 許立達, 古艶磊, 上條俊介(東京大学)
- 1-1B-03* 「ITS通信システムにおけるCSMA/CAの高負荷時での性能解析」
○藤井雅弘, 五十嵐悠理, 横森崇宏, 羽多野裕之, 伊藤篤, 渡辺裕(宇都宮大学)
- 1-1B-04* 「深層学習による車載映像の都市名推定」
山口莞爾, 福元和真, 松下侑輝, 川崎洋(鹿児島大学), ○小野晋太郎, 池内克史(東京大学)
- 1-1B-05 「自動車運転中におけるスマートフォンの3軸加速度補正手法の検討」
○伊藤誠朗, 山崎初夫, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)
- 1-1B-06 「スマートフォン搭載センサを用いたながら自転車状態検出手法に関する検討」
○高木健太郎, 奥村惇史, 山崎初夫, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)

- 1-1B-07 「スマートフォンの“ながら状態”における画面注視状態検出手法の検討」
○奥村博史, 高木健太郎, 山崎初夫, 中野倫明, 山田宗男 (名城大学)
- 1-1B-08 「ファジィ推論を用いたマップマッチングの一方式」
○森島将慶, 塚元康輔 (茨城大学)
- 1-1B-09 「寸法規定違反車両検知のためのレーザ車両寸法計測装置に関する検討」
○今城勝治, 吉永秀雄, 白金直徒, 森敬充 (三菱電機)
- 1-1B-10 「協調型自動運転のためのLDMグローバルコンセプト実証実験」
○佐藤健哉, 橋本雅文 (同志社大学), 菅沼直樹 (金沢大学), 加藤真平, 芝直之, 花井将臣, 高田広章 (名古屋大学), 天沼正行, 沓名守道, 大石淳也 (インクリメントP)
- 1-1B-11 「歩行者の危険性を検知し運転者に警告するシステムの研究 ―車載カメラによる実現―」
○山本真緒, 小木津武樹, 溝口博 (東京理科大学)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:50 対話セッション1-2

14:00-14:15 概要紹介 (ショットガン)	講堂 大ホール
14:20-15:20 ポスタープレゼンテーション	7号館 101 スタジオ
15:20-15:50 公開討議	7号館 101 スタジオ

*を付した論文は査読つき論文です.

1-2A. 自動運転・走行支援技術

7号館 101 スタジオ

モデレータ: 佐藤 健哉 同志社大学大学院 理工学研究科情報工学専攻 教授 / モビリティ研究センター センター長
川原 禎弘 株式会社ジェイテクト 研究開発本部BR産官学関連開発室 室長

- 1-2A-01* 「車車間通信のLCR/AFD特性モデルの構築」
○強矢昌宏, 山田秀行 (マツダ), タン ザ カン, 荒木純道 (東京工業大学)
- 1-2A-03 「5.9GHz DSRC V2X 安全通信技術」
○Sue Bai, Samer Rajab (Honda R&D Americas, Inc.)
- 1-2A-04 「RF-IDを用いた車線の情報化と交差点での車両誘導について」
○川村武, 柏達也, 今井卓, 岸本恭隆 (北見工業大学)
- 1-2A-05 「レーンレベルの位置参照方式具体化へ向けて」
○中條覚, 柴崎亮介 (東京大学)
- 1-2A-06 「測域センサを用いた前方車両の視覚情報提示支援」
○楊茗越, 亀田能成, 北原格, 大田友一 (筑波大学)
- 1-2A-07 「反射強度グリッドマップを活用した自動車の自動運転システム」
○大前学, 松下寛治, 久松亮史, 佐藤周也, 岡田成弘 (慶應義塾大学)
- 1-2A-08 「自動運転向け通信のための位置情報に基づくチャンネルリソース割り当て手法の検討」
○石川大地, 佐藤光哉, 藤井威生 (電気通信大学),
Matthias Wilhelm, Haris Kremos, Onur Altintas (トヨタIT開発センター)
- 1-2A-09 「待ち時間を配慮した車内信号による交差点通行支援の評価」
○楊波, 鄭仁成, 貝塚勉, 中野公彦 (東京大学)
- 1-2A-11 「人と車載カメラの連携による自動駐車システムに関する研究~指示デバイスを用いて駐車位置を指示する~」
○阿部裕太, 小木津武樹, 溝口博 (東京理科大学)
- 1-2A-12 「ロボット分野との融合を目指したRTミドルウェア導入に関する基礎的検討」
○堀佑大朗, 陳祐樹, 羽根青弦, 小木津武樹, 溝口博 (東京理科大学)
- 1-2A-13 「自動運転システムの社会実装に関する課題と展望」
○須田義大, 大口敬, 中野公彦, 大石岳史, 小野晋太郎, 吉田秀範, 杉町敏之 (東京大学)

モデレーター： 蒔苗 耕司 宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科 教授

青木 泰浩 株式会社東芝 電力・社会システム技術開発センター自動化・画像応用システム開発部担当

- 1-2B-01* 「車載カメラ映像を用いた駐車場空きスペース案内システムの開発」
○永井徹, 加藤淳, 北村忠明, 奥出真理子(日立製作所), 長田哲平, 大森宣暁(宇都宮大学)
- 1-2B-02* 「前頭葉に白質病変を持つ高齢ドライバーの実車運転行動分析」
○大田学, 阿部玲佳(高知工科大学), 蓮花一巳(帝塚山大学), 多田昌裕(近畿大学), 朴啓彰(高知工科大学)
- 1-2B-03 「準静電界技術による路面状態推定システムの検討」
○北川善智, 河野賢司, 須田義大, 滝口清昭(東京大学)
- 1-2B-05 「交通環境が異なる車両感知器に対する故障検出状況の評価」
○弘津雄三, 岩岡浩一郎(パナソニック システムネットワークス), 新倉聡(神奈川県警察本部)
- 1-2B-06 「小型脳波センサを用いたドライバの覚醒度評価手法について」
○菊池光太郎, 小林康秀, 齊藤充行, 脇田航, 岡田淳司(広島市立大学)
- 1-2B-07 「道路巡回支援システムとカーテレマティクスプラットフォームの開発」
○佐藤哲也(交通総合研究所), 太田和昭, 野口和彦(首都高パトロール), 坂本浩規, 割田博, 渡邊隆典, 酒井浩一(首都高速道路), 荒田光(交通総合研究所), 米山和夫(空間開発工房), 小原剛(大日本印刷)
- 1-2B-08 「衛星画像とDEMデータを用いた植生および土砂災害危険区域の検出」
○足立大起, 佐治斉(静岡大学)
- 1-2B-09 「ITSプローブデータを活用した都市間高速道路における速度低下要因に関する分析」
○増本裕幸, 宇野伸宏, 山崎浩気(京都大学), 山本浩司(中日本高速道路), 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 馬淵一三(中日本高速道路)
- 1-2B-10 「プローブデータ等を用いた東日本大震災時における都内道路の交通流動性低下に関する考察」
○竹之内篤, 桑原雅夫(東北大学)
- 1-2B-11 「プローブカーデータと衛星画像を用いた大気汚染の推定手法の提案」
○鬼頭良輔, 佐治斉(静岡大学)
- 1-2B-12 「衛星画像とプローブカーデータを用いた被災地道路解析手法の提案」
○田中貴之, 佐治斉(静岡大学)
- 1-2B-13 「対話して学習するプローブパーソン調査システムの提案」
○後藤啓人, 定金乾一郎, 瀬尾亨, 日下部貴彦, 朝倉康夫(東京工業大学)

15:50-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション1-1

自動車の自動運転とそのサービス展開の可能性について

講堂 大ホール

自動運転自動車の開発が世界各国で行われている。また日本においてもいくつかの地域で市街地を含む走行実験が行われ、またそのサービス展開を目指した会社が設立されるなど大きな注目を集めている。このような自動運転自動車は安全、快適性の向上のみならず、将来のライフスタイルをも変えうる様々な可能性が秘められる。そこで本セッションでは、多方面の専門家をパネリストとして招き、自動車の自動運転に関するサービス展開の可能性について議論する。

モデレーター： 菅沼 直樹 金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造コア自動運転ユニット ユニトリリーダー/准教授

パネリスト： 中島 宏 株式会社ディー・エヌ・エー 執行役員 オートモーティブ事業部長

ロボットタクシー株式会社 代表取締役社長

中山 幸二 明治大学 法科大学院 教授

岩貞 るみこ モータージャーナリスト/ノンフィクション作家

内閣府 SIP自動走行システム推進委員会 委員

18:00 バンケット

ルヴェ ソン ヴェール南大沢

ルヴェ ソン ヴェール南大沢

首都大学東京国際交流会館内(シンポジウム会場より徒歩7分)

12月4日(金)

9:00 開場

9:30-11:00 企画セッション2-1

講堂 大ホール

若手研究者から見たITS研究開発の魅力と課題、そしてこれから

本セッションは、若手研究者がどのような交通社会を目指してITS技術の研究開発を行っているかにスポットライトを当てる。ITS分野はその器の大きさで、様々な若手を生み出している。日本が長い将来にわたりITS技術で高い競争力を築くために、多様化する若手研究者に自由に発言させ、分野全体で育成してその力を結集させる場を作る挑戦的な試みを行う。若手はもちろん、ベテランITS関係者も奮ってご参加ください。

モデレータ： 清水 哲夫 首都大学東京 都市環境科学研究科 観光科学域 教授

パネリスト： 小木津 武樹 東京理科大学 理工学部機械工学科 助教
吉野 加容子 株式会社脳の学校 脳環境研究部門 主任研究員
日下部 貴彦 東京工業大学大学院 理工学研究科土木工学専攻 助教

11:00-11:10 休憩

11:10-13:00 対話セッション2-1

11:10-11:25 概要紹介(ショットガン)

講堂 大ホール

11:30-12:30 ポスタープレゼンテーション

7号館 101 スタジオ

12:30-13:00 公開討議

7号館 101 スタジオ

*を付した論文は査読つき論文です。

2-1A. ITS事業・政策のイノベーション

7号館 101 スタジオ

モデレータ： 大森 宣暁 宇都宮大学大学院 工学研究科地球環境デザイン学専攻 教授
葛西 誠 株式会社高速道路総合技術研究所 交通環境研究部交通研究室 研究員

2-1A-01 「首都圏高速道路ネットワークにおける戦略的料金体系と総合交通マネジメント」

○清水哲夫(首都大学東京), 吉田正(スマートインフラ総合研究所)

2-1A-02 「多様なデータ融合による災害時のモビリティ支援に向けた災害時施策評価ツールの開発」

○大畑長(オリエンタルコンサルタンツ), 飯島護久, 花房比佐友(アイ・トランスポート・ラボ), 須藤哲寛(日本気象協会), 江藤和昭, 柿元祐史(オリエンタルコンサルタンツ), 桑原雅夫, 三谷卓摩, 川崎洋輔, 原祐輔(東北大学)

2-1A-03 「多様なデータ融合による災害時のモビリティ支援に向けた災害リスク情報生成に関する研究」

○丹治和博(日本気象協会), 川崎洋輔, 原祐輔, 桑原雅夫(東北大学), 古市信道, 須藤哲寛(日本気象協会), 浦山利博, 松永義徳, 池田晃三(アジア航測), 永井慎一(本田技研工業)

2-1A-04 「多様なデータ融合による災害時のモビリティ支援に向けた災害時のリアルタイムシステムの開発」

○川崎洋輔, 桑原雅夫(東北大学), 木村洋一, 戸高弘統(日本気象協会), 大坪裕哉, 松沼毅(オリエンタルコンサルタンツ), 松永義徳(アジア航測), 永井慎一(本田技研工業), 小宮粹史, 堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ)

2-1A-05 「ITS技術の活用によるアジア諸国の都市交通問題解決に関する提案」

○牧野浩志, 築地貴裕, 水谷友彰(国土交通省国土技術政策総合研究所)

2-1A-06 「プローブ旅行速度データのクレンジング手法に関する一考察」

○松島敏和, 橋本浩良, 高宮進(国土交通省国土技術政策総合研究所)

2-1A-07 「走行支援サービスのための道路構造データの整備手法に関する研究」

○石田大輔(国土交通省国土技術政策総合研究所), 今井龍一(東京都市大学), 深田雅之(ゼンリン), 松井晋(アジア航測), 木村篤史(パスコ), 重高浩一(国土交通省国土技術政策総合研究所)

2-1A-08 「ITSの情報ガバナンス - 海外訴訟の備えを考慮したIoEシステム」

○北村浩(未来工学研究所)

2-1A-09 「街のナビゲータが描く地域発ITSモデル」

○森田均(長崎県立大学), 松坂勲, 山口泰生(長崎電気軌道), 曾理恵子, 酒井寿美雄(協和機電工業)

- 2-1A-11 「マレーシアと日本におけるソフト・モビリティ・ゾーン & ルート (多手段共生・速度制御地区/道路) 設定に向けた基礎的検討 速度制御と外部コミュニケーションに着目したアプローチ
○小栗幸夫 (千葉商科大学), 吉川泰生 (聖学院大学), 関水 和信 (環境デザイン), Sivaplan Selivadurai, Novel Lyndon, Vivien Yew Wong Chin, Amiruddin Ismail, Rozmi Ismai, 湯川創太郎 (マレーシア国民大学), 王駿祥 (千葉商科大学)
- 2-1A-12 「仙台市地方創生特区における近未来技術実証フィールド構築構想」
○鈴木高宏, 長谷川史彦, 片岡源宗, 大野和則, 山邊茂之, 西澤真裕, 伊藤修, 鎌田浩一郎, 畠山賢介, 松根清光 (東北大学)
- 2-1A-13 「交通管制におけるプローブデータの活用可能性検討」
○竹井賢二, 青木圭 (阪神高速道路), 河本一郎, 緒方一真 (阪神高速技研), 田名部淳 (地域未来研究所)

2-1B. ITS 施策・技術の評価

7号館 101 スタジオ

モデレーター: ポンサトーン・ラクシンチャランサク

東京農工大学大学院 共生科学技術研究院 機械システム工学専攻 准教授
吉田 樹 福島大学 人文社会学群経済経営学類 准教授

- 2-1B-01 「ETC2.0非搭載大型車の通行実態把握に関する研究」
○鹿谷征生, 鈴木彰一, 築地貴裕, 牧野浩志 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 2-1B-02* 「高速道路における休憩行動が走行挙動に及ぼす影響の分析」
○兵頭知, 吉井稔雄 (愛媛大学), 大宮清英 (富士通), 松下聖史 (愛媛大学)
- 2-1B-03* 「高速道路料金体系変更による一般道を含めた余剰への影響
～首都高の距離帯別料金導入に伴う社会的余剰変化～」
○大瀧逸朗, 今西芳一, 内山直浩 (公共計画研究所), 中拂論, 根本敏則 (一橋大学)
- 2-1B-04 「吹雪視程の予測技術の開発とその効果」
○國分徹哉, 武知洋太, 原田裕介, 大宮哲, 松澤勝 (土木研究所寒地土木研究所)
- 2-1B-05 「交通事故発生時の死亡・重傷率分析に基づくISA 導入効果の推計～愛知県交通事故データを用いて～」
○杉原暢, 松尾幸二郎, 廣島康裕 (豊橋技術科学大学), 山崎基浩 (豊田都市交通研究所), 三村泰広 (国際開発コンサルタンツ), 菅野甲明 (中京大学)
- 2-1B-06 「車内での標識提示がドライバの運転行動に与える影響」
○増井太志, 霜野慧亮, 鄭仁成, 中野公彦 (東京大学)
- 2-1B-07 「安全運転管理教育システム ASSIST におけるタブレット版管理ソフトウェアの開発」
○岸本喬仁, 合志和晃, 林政喜 (九州産業大学), 隅田康明 (九州大学), 金納裕昌 (九州産業大学), 松永勝也 (九州大学)
- 2-1B-09 「ドライバの運転支援システム習熟のための講習用シミュレータの効果評価」
○浦宏, 小木津武樹, 溝口博 (東京理科大学)
- 2-1B-10 「運転支援システムとドライバとの親和性の向上のためのドライビングシミュレータの開発」
○陳祐樹, 小木津武樹, 溝口博 (東京理科大学)
- 2-1B-11 「白質病変とドライビングシミュレータ酔い」
○朴啓彰 (高知工科大学), 中野倫明, 山田宗男 (名城大学), 繁樹博昭, 大田学, 阿部玲佳 (高知工科大学)
- 2-1B-12 「安全運転支援サービスの評価方法と継続的評価」
○松本章宏 (長大), 牧野浩志 (国土交通省国土技術政策総合研究所), 佐々木浩一, 高橋真人, 内海泰輔 (長大)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:50 対話セッション2-2

14:00-14:15 概要紹介(ショットガン)

14:20-15:20 ポスタープレゼンテーション

15:20-15:50 公開討議

講堂 大ホール

7号館 101 スタジオ

7号館 101 スタジオ

*を付した論文は査読つき論文です。

2-2A. 交通システム・利用者行動特性とITS**7号館 101 スタジオ**

モデレータ： 牧野 浩志 国土交通省国土技術政策総合研究所 高度道路交通システム研究室 室長

中野 泰彦 株式会社富士通研究所 メディア処理研究所リアルタイムメディア処理プロジェクト 主管研究員

- 2-2A-01 「子供を連れた親の「歩きスマホ」中の視線・動作の計測」
○金洪(愛知工科大学), 平谷望恵(畔柳工業), 尾林史章, 小塚一宏(愛知工科大学)
- 2-2A-02 「生体磁気刺激によるドライバ覚醒手法における磁界周波数依存性」
○久田勇貴, 川口雅人, 小島茂也, 毛利佳之, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業科学研究所)
- 2-2A-03 「自転車運転中におけるスマホやイヤホン使用の危険性の実験検証」
○尾林史章(愛知工科大学), 松井一磨(デンソー), 杉江亮輔, 小塚一宏(愛知工科大学)
- 2-2A-05 「聴覚情報を活用した異常事象等伝達手法による注意喚起の研究」
○山本浩司(中日本高速道路), 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 亀川徹(東京藝術大学)
- 2-2A-06 「高速道路の渋滞予測情報による混雑緩和効果」
杉田正俊, ○福本紗千(日本道路交通情報センター)
- 2-2A-07 「高速道路単路部ボトルネックにおける追従挙動特性の車両個体差の実証分析」
楊燕, 和田健太郎, ○大口敬, 井料(浅野)美帆(東京大学), 牧野浩志(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 2-2A-08 「公用車のドライブレコーダーを活用した交通安全検討手法に関する研究」
○田中翔太(オリエンタルコンサルタンツ), 有賀浩一, 内藤義之(柏市), 田中淳, 松沼毅, 後藤秀典, 道工敏央, 塩飽洋平, 長瀬薫(オリエンタルコンサルタンツ)
- 2-2A-09 「商用車プローブデータを活用した西名阪道夜間工事通行止時の交通行動」
○松下剛(西日本高速道路), 吉田正紀(西日本高速道路エンジニアリング関西), 田名部淳(地域未来研究所)
- 2-2A-10 「予測軌跡の方向変化を考慮した歩行者挙動モデル」
○井料(浅野)美帆(東京大学), 藤原龍, 井料隆雅(神戸大学), 長島愛(東京都)
- 2-2A-11 「ドライビングシミュレータを用いた濃霧時における運転支援システムの効果評価(第1報)」
杉町敏之, ○李曙光, 須田義大(東京大学)
- 2-2A-12 「アクセル・ブレーキ操作におけるfMRI分析」
○大田学, 朴啓彰, 阿部玲佳, 繁樹博昭, 門田宏(高知工科大学)

2-2B. ITSによる交通管理・制御手法**7号館 101 スタジオ**

モデレータ： 藤井 威生 電気通信大学先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター 教授

中野 公彦 東京大学大学院 情報学環 准教授

- 2-2B-01 「低炭素に留意した交通信号制御方式の開発と効果確認」
○風間洋(京三製作所), 新倉聡(神奈川県警察本部), 高島俊一郎, 和田万正(京三製作所)
- 2-2B-02* 「希望速度平準化による非渋滞時の交通流変化に関するシミュレーション分析」
○朱慧珺, 柳原正実, 小根山裕之(首都大学東京), 亀岡弘之(中日本高速道路), 石倉智樹(首都大学東京)
- 2-2B-03 「道路ネットワークの動的運用に向けたITS技術の活用方策」
○福山祥代, 松田奈緒子, 牧野浩志(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 2-2B-04 「プローブデータを用いた高速道路を対象とした異常事象時の旅行時間推定」
○関塚貴一, 三谷卓摩(東北大学), 益田卓朗, 永井慎一(本田技研工業), 桑原雅夫(東北大学)
- 2-2B-05 「確率的な需要の到着を考慮した信号路線の遅れ時間評価」
○臼井健人, 和田健太郎, 大口敬, 井料(浅野)美帆(東京大学)

- 2-2B-06 「大型車と普通車のプローブデータを活用した旅行時間および旅行速度の評価」
○三谷卓摩, 川崎洋輔, 原祐輔, 竹之内篤, 桑原雅夫 (東北大学)
- 2-2B-07 「タンデムソーティング戦略による信号交差点の容量増強のケーススタディ」
○サンディ・マエ・ガスパイ, 大口敬, 和田健太郎, 井料 (浅野) 美帆 (東京大学)
- 2-2B-08 「深層学習によるマルチエレメントGAを用いた交通渋滞緩和システムの高速化」
○中村新之介, 植村匠 (崇城大学), 上瀧剛, 内村圭一 (熊本大学)
- 2-2B-09 「多数ケースの動的交通量配分の数値計算の高速化」
○石原雅晃, 藤原龍, 井料隆雅 (神戸大学)
- 2-2B-10 「道路のライフサイクルコストの低減を目的とした大型車の課金マネジメント」
○味水佑毅 (高崎経済大学), 脇嶋秀行, 松井竜太郎, 大井孝通 (建設技術研究所), 根本敏則 (一橋大学)
- 2-2B-11 「事故データベースに基づく動的な事故リスク情報の交通マネジメントへの活用」
○岩里泰幸, 兒玉崇 (阪神高速道路), 小澤友記子, 大藤武彦 (交通システム研究所)
- 2-2B-12 「災害時の道路啓開の迅速化のための放置車両自動誘導に関する技術的実現性の検討」
○小木津武樹, 溝口博 (東京理科大学)

15:50-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション2-2

講堂 大ホール

オリンピック・パラリンピックを契機としたモビリティ改革とITSへの期待

オリンピック・パラリンピックは都市における交通のあり方を改革する契機であり、ITSはその先の未来を実現するため、様々な課題に対する解決策を提供することが期待される。また、全国各地への応用も視野に東京モデルを描く場でもある。これらについて主にニーズ側の視点から議論を行い、今後本格化するオリンピック・パラリンピックへ向けた動向の指針を見定める視点を共有したい。

モデレータ：羽藤 英二 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授

パネリスト：秋山 哲男 中央大学研究開発機構 教授

桐谷 佳恵 千葉大学 情報コミュニケーション教育研究領域

コミュニケーションデザイン教育研究分野 准教授

森口 将之 株式会社モビリティ代表取締役

17:40-18:00 閉会式

講堂 大ホール

プログラム委員長講評 清水 哲夫 首都大学東京 都市環境科学研究科 観光科学域 教授
ベストポスター賞授与

プログラム委員会

委員長：清水哲夫 (首都大学東京)

委員：青木泰浩 (東芝), 居村岳広 (東京大学), 大森宣暁 (宇都宮大学), 小木津武樹 (東京理科大学), 小根山裕之 (首都大学東京), 葛西誠 (高速道路総合技術研究所), 菅沼直樹 (金沢大学), 杉本千佳 (横浜国立大学), 関本義秀 (東京大学), 中野公彦 (東京大学), 中野泰彦 (富士通研究所), 橋祐一 (日立ソリューションズ東日本), 原加代子 (日産自動車), 韓亜由美 (前橋工科大学), 藤井威生 (電気通信大学), ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク (東京農工大学), 吉田 樹 (福島大学)

特定非営利活動法人 ITS Japan

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館ビル

TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755 / <http://www.its-jp.org/>